

教育課からのお知らせ

「木曾川の水力の歴史」発刊

～教育委員会、発電所資料収集展示研究会～

明治44年(1911年)に建設された旧八百津発電所は、昭和49年の現在の発電所が出来までの63年間にわたり発電を続け、現在は町の資料館として当時の姿を残しています。

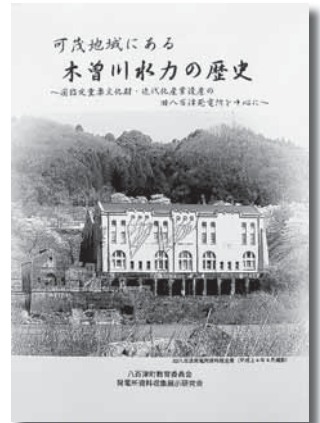
建物は、日本の水力発電の歴史を見る上で非常に重要な産業遺産であるとして、平成10年5月に国重要文化財に指定されました。

こうした発電所の歴史を後世に伝えていきたいと、平成21年に発足した研究会では、各発電所の概要や建設当時の経緯など、当時の写真なども交えてわかりやすく資料をまとめ、教育委員会と協力し「可茂地域にある木曾川水力の歴史」を発刊しました。

※冊子はA4判、112ページで1冊1,000円です。

□お問い合わせ 教育委員会(ファミリーセンター内) 生涯学習係

☎43-0390 または 43-2111 (内線 2515・2516) まで



総務課からのお知らせ

ちいき活動応援セミナー\*女子Cafe\*第4回

～子どもの未来とふるさとのために私ができること～

ちいきの活力の低下を実感され、未来に憂いを思っている方、男女問わず活発な交流の中から本当のちいきの課題をみつけ、住み手自身で解決方法を考えるセミナーです。

このセミナーは、みのかも定住自立圏事業として行っています。

□と き 12月9日(日) 午後2時～4時30分 ※受付 午後1時30分～

□と ころ 美濃加茂市生涯学習センター 203 会議室

□テ マ ちいきの課題に取り組んでいる団体と一緒に考えよう!

□内 容 みのかもファーマーズ倶楽部の春見さんから活動をご紹介いただき、みのかもの明日の農業について、ワールド・カフェ方式で意見交換し、それぞれのちいき活動のヒントを見いだせるよう考えます。

□ファシリテーター 木村真樹さん(コミュニティ・ユース・バンク momo 代表理事)

□対 象 みのかも定住自立圏内に住んでいる人、通勤している人、通学している人

□定 員 30人(先着順)

※託児所をご用意します。ご希望の方は11月21日(水)までにご相談ください。

□参 加 料 500円(コーヒー代)

□申 込 み 12月3日(月)までに、直接または電話(0574-25-2111(内線447))、FAX(0574-25-3917)、メール(goiken2@city.minokamo.lg.jp)で美濃加茂市役所 市民協働部 定住自立圏推進室へお申し込みください。

□お問い合わせ 役場2階 総務課 政策調整係 ☎43-2111(内線2212)まで



日常生活の困りごとを解決するために、人々が連帯して助け合う共助が欠かせないように、少子化・高齢化・人口減少が進む時代に、さまざまな課題を解決する方法は「連携する」ことです。みのかも定住自立圏では、同じ生活圏の市町村が連携し、「人のつながり」によって生活に大切な機能を確保する取り組みを進めています。(連携している市町村は、美濃加茂市、坂祝町、富加町、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、東白川村です。)